

実施要項

令和8年度第9回大田区ジュニアトーナメント

- 1 主催 大田区軟式野球連盟
- 2 後援 大田区、(公財)大田区スポーツ協会
- 3 会期 令和8年8月23日(日)以降毎日曜・祭日開催予定
- 4 会場 多摩川緑地野球場(少年2、3号面)
- 5 参加資格
 - 1 小学4年生以下の児童により編成されたチーム
 - 2 1チームの選手登録は9名以上の男子及び女子で編成すること。
複数チームの登録を認める。ただし出場資格年齢を厳守すること。
(平成28年度「混成チームの編成について」参照)
 - 3 20歳以上の責任者(男女を問わない)をチームの代表者として、選手の監督保護にあたること。
 - 4 選手は家庭の保護者の同意承諾を得ること。大会参加届の保護者確認はチーム代表の責任において保護者の承諾を得たものであれば、代表の署名でよい。
 - 5 チーム責任者は選手個々の健康状態に十分留意し、特に試合当日は個別に確認したうえで試合に臨むこと。
 - 6 参加選手全員がスポーツ傷害保険に加入していること。(保険番号を必ず記入のこと。)
- 6 大会参加申込
 - 1 第44回東京都学童軟式野球大会新人戦予選会
 - (1) 1チームの出場選手は25名以内とする。
 - (2) 申込用紙は連盟HP→少年大会→ジュニアトーナメント申込用紙
 - (3) 参加料 9,000円
 - 3 大会参加申込期間
令和8年7月27日(月)～8月11日(火)
 - 4 申込場所
大田区軟式野球連盟 事務局
- 7 適用規則
2026年度公認野球規則、競技者必携及び別に定める特別規則を適用する。
- 8 大会規律
不正出場その他規律違反に対する処理は、連盟大会規程による。
- 9 大会使用球
全日本軟式野球連盟公認球J号を使用する。
- 10 抽選
<日時> 令和8年8月16日(日) 9:00～17:00 (時間内で都合のよい時間においでください)
<場所> 大田区軟式野球連盟 事務局
- 11 開会式
行わない
- 12 会期
9月6日(日)～10月12日(月・祝) (9日間)
日曜・祝日開催

13 試合方法

- 1 5回戦、1時間20分とする。試合時間を経過した時点で新しいイニングに入らない。ただし、決勝戦は規定回数を優先する。
- 2 コールドゲームは、3回以降10点差以上、4回以降7点差以上とする。
- 3 延長戦は行わず、5回終了時において勝敗が決しない場合は直ちに特別ルールを適用して試合を続行する
- 4 降雨、日没等による正式試合の成立は3回完了時とする。

◎ 特別ルール

特別方式は継続打順として、前回の最終打者を一塁走者、その前者を二塁走者とする。すなわち、無死走者一、二塁の状態にして試合を行う。なお、特別方式は最大2回までとし、さらに勝敗が決しない場合は抽選で決する。

14 競技上その他注意事項

- 1 ユニフォームはチームで統一された同一のものを着用し、必ず背番号をつけなければならない。監督は30番、コーチは28番。29番の2人とし、主将は10番に統一し、他の選手は0番から99番までとする。
混成チームの場合は、ユニフォームはそれぞれのユニフォームでもよいが、チームとして背番号を上記の通り統一すること。
- 2 チームを複数登録する場合、監督及びコーチの重任はできない。
- 3 ベンチ入りできる選手数は25名以内とする。
- 4 監督者会議以降の選手の追加、変更は原則として認めない。
- 5 試合日程の変更は原則として行わない。ただし、降雨またはグラウンド状態が悪い等、連盟が必要と認めた場合変更することもあるが、チーム側からの要請は一切認めない。
- 6 打者用ヘルメットは7個以上準備し、打者、次打者、走者及びベースコーチは必ず着用すること。
- 7 投手は健康上の理由により、次の制限を設ける。
 - (1) 投手一人の一日の投球数を60球とする。
 - (2) やむを得ずダブルヘッダーとなる時も通算の投球数は(1)を超えることはできない。
 - (3) 一旦他の守備位置に就いて再び投手に戻る時も通算の投球数は(1)を超えることはできない。
- 8 ピッチクロック、ハイブリッド投球(ハイブリッドポジション)、バッタースボックスルールは適用しない。
- 9 捕手はプロテクター、レガース、保守用ヘルメット、ファウルカップ及びスロートガード付きのマスクを着用すること。
- 10 試合前外野等で練習するとき、指導できるのはユニフォームを着用した指導者のみとする。
- 11 試合前の練習は外野でランニング、キャッチボール、トスバッティング、1、3塁ベース付近から内野方向でのサイドノック、外野ノック、投球練習のみとする。
- 12 オーダー表は、試合開始予定時刻の30分前までに、3部、本部まで提出すること。
- 13 試合中ベンチに入れる大人は代表者(引率責任者)、監督、コーチ(ともに登録者に限る)、マネージャー1名、スコアラー1名とする。ただし、天候等により大会本部が必要と認めた場合には、選手に対する給水のため、保護者が2名入ることができる。
- 14 試合中の怒声、罵声、暴言を禁止する。相手を威嚇するような行為、選手、審判に対する野次も禁止する。
- 15 投手が投手板に触れて投球位置についたら投球を完了するまで発声を禁止する。
- 16 勝利したチームは後審判の三塁審を準々決勝まで対応する。

- 17 大田区軟式野球連盟の大会公式試合の各球場面において、試合当該チーム以外のチーム及びチーム関係者(応援、観戦者を含む)は、インプレイエリア(外野植栽の外側を含む)に立ち入らないよう、大会参加チーム責任者は指導。徹底すること。
- 18 選手、チーム関係者及び応援・観戦者が、当連盟の主管する試合及びその前後の練習の打球、選手との接触その他により負傷した時、当連盟は必要に応じ救急車の手配をするなど応急の処置をとるが、それ以上の処置や負傷による損害の補填等に関しては一切行わない。
- 19 自転車はグラウンド周辺に止めず、土手側あるいは指定された車路の両側などに駐輪すること。また、バイクの乗り入れは禁止となったため、道具等を下した後は指定の駐輪場に駐車すること。
- 20 ご不明の点があれば遠慮なくお問い合わせください。

◎ 問合せ先 大田区軟式野球連盟事務局 (連盟の休日は木曜日です)

電話 03-3736-5023

FAX 03-3736-5026

E-mail hirose@osbb.gr.jp

◎ 連盟ホームページ <http://www.osbb.gr.jp>

各種情報を掲載しています。適宜閲覧ください。

大田区軟式野球連盟

(2026.7)